

読む

物語文を読もう

名前

次の文章を読んで問題に答えましょう。

ガチョウのたん生日

にいみなんきち
新美南吉



あるおひゃくしょうやのうら庭にアヒルや、ガチョウや、モルモットや、ウサギや、イタチなどが住んでおりました。

さて、ある日のこと、ガチョウのたん生日というので、みんなはガチョウのところへいこちそつにまねかれて行きました。

これで、イタチさえよんでくれば、みんなお客がそろつわけですが、さて、イタチはどうしましょう。みんなは、イタチは決してわるものではないことを知っております。けれど、イタチには、たったひとつ、よくないせがありました。それは、おおぜいの前では、言うことができないようなくせでありました。何かともうしますと、ほかでもありません、大きなげいおならをすることあります。しかし、イタチだけをよばないと、イタチはきつとおこるにちがいありません。

そこで、ウサギがイタチのところへつかいにやつていきました。

「今日はガチョウさんのたん生日ですからおでかけください。」

「あ、そうですね。」

「ところで、イタチさん、ひとつおねがいがあるのですが。」



「あ、すみませんが、今日だけはおならをしないでください。」

イタチははずかしくて、顔を真っ赤にしました。そして、

「ええ、決してしません。」と 答えました。

(新美南吉「ガチョウの誕生日」より)

一、登場人物をすべて書きましょう。

二、登場人物の中で「みんな」の中にいないのはだれですか。

三、「さて、イタチはどうしましょう。」と考えたのはなぜでしょう。ア、イにあてはまる言葉を入れて、次の文を完成させましょう。

イタチは決してア ではないが、
イ をするくせがあったから。

四、イタチが顔を真っ赤にしたのはなぜですか。次のア～ウの中からあてはまるものをえらんで、 に記号を書きましょう。

- ア 大好きなガチョウのたん生日にさそわれたから
- イ 気にしているくせについてお願いをされたから
- ウ 自分がさいごにさそわれてくやしかったから

読む

物語文を読もう

(ガチヨウのたん生日)

名前

こたえとせつめい

次の文章を読んで問題に答えましょう。

ガチヨウのたん生日

新美南吉



あるおひやくしょうやのうら庭にアヒルや、ガチヨウや、モルモットや、ウサギや、イタチなどが住んでおりました。

さて、ある日のこと ガチヨウのたん生日というので、みんなはガチヨウのところへ「ちそつにまねかれて行きました。

これで、イタチさえよんでくれば、みんなお客がそろつわけですが、さて、イタチはどうでしょう。みんなは、イタチは決してわるものではないことを知っておりまして。けれど、イタチには、たったひとつ、よくないくせがありました。それは、おおぜいの前では、言うことができないようなくせでありました。何かともうしますと、ほかでもありません、大きなげしいおならをすることでありませ。しかし、イタチだけをよばないと、イタチはきつとおこるにちがいありません。

そこで、ウサギがイタチのところへつかいにやってきました。

「今日はガチヨウさんのたん生日ですからおでかけください。」

「あ、そうですね。」

「ところで、イタチさん、ひとつおねがいがあるのですが。」

「何ですか。」

「あの、すみませんが、今日だけはおならをしないでください。」

イタチははずかしくて、顔を真っ赤にしました。そして、

「ええ、決してしません。」

と 答えました。



(新美南吉「ガチヨウのたん生日」より)

一、登場人物をすべて書きましよう。

アヒル
ガチヨウ
モルモット
ウサギ
イタチ

登場人物とは 人のように話したり動いたりするものをいいます。木がしゃべったら、それも登場人物です。ここでは、ウサギやイタチがしゃべっていますし、他の動物も人間のように書かれていますね。

二、登場人物の中で、「みんな」の中にいないのはだれですか。

イタチ

登場人物の中で、ガチヨウのところに来ていないのはだれですか？「イタチさえよんでくればみんなお客さんがそろつ」と書いてあるから、来ていないのはイタチですね。

三、「さて、イタチはどうしましよう。」と考えたのはなぜでしょう。ア、イにあてはまる言葉を入れて、次の文を完成させましよう。

イタチは決して ア ではないが、

イ をするくせがあったから。

ア わるもの

イ 大きなげしいおなら

どうしてそう思うのかは、同じだらしく書いてありますね。そのまま書くと長い文ですが、大事なことだけ書くことも大切ですね。

四、イタチが顔を真っ赤にしたのはなぜですか。次のア〜ウの中からあてはまるものをえらんで、 に記号を書きましよう。

ア 大好きなガチヨウのたん生日にさそわれたから

イ 自分のよくないくせについてお願いをされたから

ウ 自分がさいにさそわれてくやしかったから

イ

顔を真っ赤にしたのは、はずかしいからです。イタチのつもりになって考えるとよくわかりますね。